

お嘗立以來日向野半畠味子水酒來此書以之。工農是貢耕數種子。元日之性靈朝  
大キノ屋ニレ由シメヘ前工農是高斯先生、恩師也。由シメ今年正月六日モウ  
マ想コ苦惱レ出レバニ實シヤ來ス三年半ノ樂ソノ夢始シフヤ詔メセ免資聞  
羅セ春ノ小鳥ノナニヤニ観ニ樂ノ樂資猶闕遂少主義ノ懸念ノ樂園ニ樂園ノ喜  
セシシガ泰者二二合ニ於ニテ樂既くハ大業ナマシト。

代的政策ニヨル擷取主義的工場經營方針ニカヘントスル資本家ノ省リ  
ミルトロロデハナカツタ。

然シソノ後勞資ノ間ニ立チテ事々ニ弱イ私達ノ味方トナリ如何ニモシテ會社側ノ殲滅ヲ避ケシメント矢表ニ起ツテ戰ツテ下サツタ。私達唯一ノ理解者デアツタ、神社問題ニ直面シ國家ノ認メタ信仰フ自由ヲ無視セラレテ放逐セラレルコトニナリ、擁取主義ニトツテハ實ニ信念ヲモツテ人道主義ヲ眞剣ニユカレル舍母ノ先生達ノ存在ハドンナユ大キナ邪魔者ダツタロウ？

労働者ノ人格主義ヲ一直線ニ目指シテ實ニ今日迄何カラ何マデ私達ノタメニ廣ク社會的知識ガ今日ノ不景氣ニモ尙一割ノ配當率ヲ持続シ内ニテ又ハ人格的ニ覺メタ明ルイ女性ノ集團ヲキヤツキ名實共ニ今日ノ名工場タラシメタル格のニ私達ノ父タル高津先生ガ何ノタメニ退職セシメラレシカ？

其ノ驚キト悲シトニタヽキツケテレタ千三百ノ乙女ノ姿ハ何ニ例ヘテ之レヲ  
表シ得マセウカ人間トシテノ愛情道徳ヲフミニジツテガ別ノ挨拶サヘモ拒ン  
ダヽアノ當時ノ會社側ノ態度ハ水久ニ乙女ノ心ニキザミツケラレタ、ゲニ  
限リナキ冷酷ナル資本家ノ姿デシタ。

當時ノ舍母サン達ノ骨折ニテ漸ク許サレタル時ノエ別ノ宴ハタゞ涙ノ海ニ涙